



はなし のたね hanashi no tane



vol.4

「馬鹿と煙は」のはなし。

漫画ドラゴンボールの作品内において、7つ集めると願いが叶うというドラゴンボールそのものよりも役に立ったのが「仙豆」という

アイテムです。これは一粒食べるだけで満腹になるところか全身の疲労や怪我までも完全回復してくれるというとんでもないアイテムです。途中から冒険活劇ではなくバトル漫画となったドラゴンボールにおいて、孫悟空ならびにその仲間たちの窮地を何度も何度も救った神アイテム…ですがあまりの効果の高さにバトルのバランスが崩れてしまう恐れが出たのか、途中から栽培がうまくできないという理由で使用回数制限がされるようになりました。この仙豆を栽培していたのが「カリン様」というキャラ。このカリン様は「カリン塔」という超絶高い塔の上に住んでいます。天高くそびえるカリン塔は雲の上まで伸び、そのてっぺんは地上から見ることもすらできません。そしてこの塔を登り切った者はとてつもない力を手に入れることができる、という設定です。まあ頂上で仙豆のような神アイテムを手に入れられるなら、それぐらいの試練は必要でしょう。このカリン塔の高さ、作品内では明らかにされていませんが、カリン様の発言やそのときの描写から考察すると、大体6000~7000mだとされます。これは登れません。そりゃ漫画の中の世界なんだから何でもアリ、実際には存在するわけがない…こともないんです。「東京バベルタワー」という常軌を逸した塔の建設計画を立てた国がかつてありました。その国の名は、何を隠そう我が日本です。時はバブル絶頂期、世界長者番付と時価総額企業ランキングを日本企業とその社長が独占していた時代。当時の日本人はやっぱりどこかおかしかったんですね。計画されたタワーの高さは10000m。0を一個入力し過ぎたわけではありません。ガチで10000m。1992年、早稲田大学の尾島俊雄教授によって発表されたこのプロジェクトは、東京都の大半の土地を使い、総建設費3000兆円、鋼材量10億トン、建設年数156年、という想像すらつかない規模で実際に計画されました。無茶苦茶です。無謀な計画であることは誰の目にも明らかでした。ただこの馬鹿さ加減、嫌いじゃありません。ってかむしろ好き。漫画の中の設定すら凌駕するなんて、まさに夢とロマンの塊ではないですか。ただ、現代人だって負けていません。孫悟空ならぬ孫正義さん率いるソフトバンクは昨年4月、上空20000メートルで基地局を運用するというこれまた仰天プランをブチ上げました。通信機器を搭載した無人航空機を地上20000メートルの成層圏で飛行させることで、山間部や海上といったこれまで圏外となっていた地域も通信可能にするというのです。いやいや…海の真ん中でYouTubeが見れるようになっても誰もそんなとこで見ないって…でもやっぱりこういう馬鹿げた発想は嫌いじゃありません。人間の空想は無限大です。そして人間が空想する事のほとんどは、実現も可能だと言われます。小難しいことを考えず、仙豆のような魔法のアイテムや、10000メートルのお化けタワーを夢見ている方が、人生絶対楽しい。バブルの時代が輝いていたのも、景気が良くてお金があったからではなく、心のゆとりや精神的余裕が生み出す馬鹿みたいな発想が、ワクワクとドキドキを与えてくれたからだと思います。ドラゴンボールのアニメ主題歌「CHA-LA HEAD-CHA-LA」にはこんな歌詞があります。「頭カラッポの方が夢詰め込める」——つまり孫正義は頭カラッポ…じゃなかった、こんな時代だからこそ、思い描く世界ぐらいは夢とロマンで満たしていたいと思うのです。

アタマの体操・脳トレ編

脳を活性化しアンチエイジングに最適です。
お役立て下さい。

問題1 「？」に共通して入るひらがな1文字は何？

「工芸品」をつくる順番は え→さ→に→む→？→？→？

問題2 漢字の部首だけで元の四字熟語を当ててください

シ	身	リ	疒
---	---	---	---

Hint



はなしのたね
vol.3の
答え

問題1
古今東西

問題2 馬
(ウ、マをつけること
安心と勇氣)